
俺に興味が無い奴は、生きる資格は無い！

シー様（借りの返せない雄）

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺に興味が無い奴は、生きる資格は無い！

【コード】

N2002P

【作者名】

シー様（借りの返せない雄）

【あらすじ】

俺が理解できた人間は神様と同じ境地に居ると言える

勝負だ————!!!!

僕は成功する。必ず成功する。

これを読んでいるお前達を踏み台にして!!

さあ、どうだ？

作者のことが気になっただろう。

作者情報をクリックすれば見られるぞ・・・

見てもいいが、それは君達が、まんまと私の戦略にはまり、踏み台になってしまうことを意味する。。

私の小説に君達がアクセスをすると、アクセスランキングに入りやすくなり、出版社の目にとまる・・・
まさしく、お前達は踏み台だ!!

お前達が、踏み台にされてしまうということは・・・
私が知能戦で君達に勝ち。。君達が私に知能戦で負けることを意味する。

負けるということは、私よりも馬鹿であることの証明となる!!

さあ、どうする？クリックしたいか？

クリックしたいだろうなあ。

私には、その気持ちが手に取るように判るぞ。。

何%の人間がクリックすると思う？

断言しよう！！100%だ。

後で、アクセス解析記録を分析して、ブログに載せて証明しよう。。

。

さあ、ここからは、根比べだ！！

負けた奴は、私を崇めて信者となれ！

もし、我慢してクリックしない奴がいたら、そいつは凄い。

何か、人生に確たる目的、、目標がある奴だろう。

私が、そういう目標者に勝つためには……

どうすれば良いかわからん！

だが、小説のエッセイは、アクセス数が本来少ない。

最初の一日で、50人程度をピークに、一気にアクセスは0となるだろう。。

この50人の中に確固たる信念を持つ者は何人居るのか？

今のこの、ご時世、一人も居ないような気がするのは私だけか？

だが、もし、一人でも居たら、ぜひ、その信念を聞かせておくれ。

私は、負けを認め……ブログ上で懺悔しようではないか！！！！

「小説家になろう」での俺の実績と宣戦布告

俺は当初、まさー氏という名のIDで犯罪小説を書きまくり自分でフューチャーしていた。

だが、あまりのフューチャーぶりに、「これは危ない！ 教育に宜しくない！」と感じ、IDを滅し小説を封印した。

次に使ったIDはcleopatra7である。

これは俺の幼少期の不可解な転落事故で、2人の前世の記憶が脳内にインプットされたのだが、その内の前世の最年長の名前を利用しIDをcleopatra7とした。

俺はクレオパトラの前世の記憶、そしてイエスキリストの記憶を保有している。そして、その2人が輪廻の過程で巡る、ありとあらゆる後世の人物全ての感情と出来事を記憶している。

ところで、このIDを使用中。俺は自分に自信を持ちすぎた。

王様の記憶があるからだろうかプライドだけは最強並みに高いのである。

だからこそ、自分の小説が世界で一番面白いと感じ全世界へ向けて主張したのだ。

しかし、最悪にも主張すればするほど、ゴミの様なカスどもの荒らしが現れた。

俺はイライラしながらも、奴ら全てを排除すべく戦った。

しかし、殺された。

「小説家になろう」にひねり潰されてしまった。

「小説家になろう」の説明によると、俺が荒らした事になったらし

い。

全然、意味が判らない。

俺が荒らしたってか？ 荒らしたの他の奴らで、俺は自分の信念を主張しただけだぞ。

これはもう何かの陰謀に違いない。

だから俺は調べた。すると出てきた。

```
http://www23.atwiki.jp/karirak  
enpedia/?cmd=word&amp;word=%E7  
%B7%A8%E9%9B%86&amp;type=norma  
l&amp;page=cleopatra7
```

57事件の戦いについては確かに俺がした。

しかし、57事件続報やら感想投稿荒らしは全て俺じゃない。

俺は自分の名前に誇りを持っている。

だからこそ、本名だって公開してる。

こそこそ別名義を使う必要など無いのだ。

そして、呉七等という短縮めいた貧乏そうなあだ名まで付けられて、俺の怒りは爆発寸前だ。

呉七という名でネット検索掛けると悪口ばかり、そして俺の名を語り荒らす者ばかり。俺が要因の起点だったとしても、明らかに悪いのは貴様らゴミくずに違いない。

だから貴様らを俺の才能で成仏させる為に「成仏の定め」をライトノベル研究所に投稿した。

結果は、マイナス200点で、まずまずだった。

あとは、それを俺の力で覆すだけだ。

小説が好きなお前らの価値観では絶対に理解不能な、そうでない者

の価値観の広大さを見せ付けてやる。

俺は、その為に、まず、ネコを被る事にした。
あまり目立たずひっそりと人脈を得る為に、人気を得られる様に、
今までと正反対のキャラに成り切る事にした。

それで作ったのこのIDシー様だ。

そして俺は、永い時を眠るかの如く刻々と下準備をしてきた。
そして今日、その下準備も整い計画を実行に移す時が来た。

待ってる、ゴミくずども・・・もう一度、俺を崇拜して貰おうじゃないか。

エジプト時代のあの時の如く、キリストの時代のあの時の如く、もう一度、神として敬って貰う！

なんせ俺は、あの時の優越感をもう一度体験する為だけに生きているのだからな！

その計画が実を結ぶのも近い。

それまで、俺の生きた証でも見ておけ。

これから起きるスーパシヨールを更に楽しめる様にな・・・

「小説家になろう」での俺の実績と宣戦布告 (後書き)

あとね、年金は俺の親がシツカリと払ってくれとんのだよボケ！
勝手に年金未納とか決め付けるな！

よし！、まずは俺が受けた人生の苦痛を食らいやがれ！

僕の息は、もう続かない。

でも途中で止めたら今までの努力が全て水の泡になる。
だから耐える。

まだ耐える。

だけでももう駄目だ。

耐えられない。

苦しい。

今更、投げ出すことはできない。

この努力が全て水の泡になるなら、
僕の人生は一体なんだったのか？

死ぬより辛い。

投げ出すくらいなら死んだ方がマシだ。

だが無理だ。

苦しい。

苦しい。

苦しい。

もう。。。息が続かない。。

駄目だ！！

でも、もっと耐え続けなきゃ・・・

僕は気を失った。

気が付くと、僕はどこかにいた。

「ここは一体どこだろうか？」
と、考える余地もなく苦痛は続く・・・

胃の粘膜の内側がエグれて喉から飛び出す感覚

その感覚は果てしなく続く・・・

飛び出した内臓が更に内側にめくれる

めくれる果てに

自分の細胞、肉体が回転を始める

僕は萎縮していく。

次元の狭間に吸い込まれるかのように・・・魂の分解が始まるように・・・。

「苦痛」

この2文字が無限に僕の脳を埋め尽くしていく。

埋め尽くすスピードは加速度的に倍加し続け最終的に

脳内の情報が臨界点に達する

僕は目覚める。

目覚めた場所は天国か？地獄か？

いずれにせよ苦痛は開放された・・・

よし！、まずは俺が受けた人生の苦痛を食らいやがれ！（後書き）

後半は将来の不安とか恐怖で見る夢の感覚。

つかれた時によく見る悪夢である。

他には歯が全部抜けたり、砕け散る夢をしょっちゅう見てた。

心理学的には将来へ不安や恐怖を抱えると、こういう夢を人は見るらしい。

多分だけど、一人で何かを一生懸命頑張ってる、それしか見えな
い人はココには居ないと思う。心に余裕が無くなって人は他人の
意味の無い文章を読む気力さえ無いものだ。だから今、読者の方
にそういう心境の人は皆無だと思う。

でも、過去、同じ様な経験をした人は判ると思うので、そういう
人には『超頑張りましたで賞』をあげたいと思う。

この賞に神様と同じくらいに価値があります。なんたって俺が神
だからねw

なんて、とりあえず共感者がここに居るよ〜ってことでOK？

なんだろうな……。男にありがちな脅迫観念というやつ？

努力して1番になれなければ、殺される的な？

そういうのはオレは幼少期のスパルタ教育の段階で身に付けさせ
られたからな……

今、中国の山村のどこかの学校で親と教師が合同してスパルタ教
育が流行ってる。

確か毎日の勉強時間は14時間だっけ？ 要するに寝ると飯以外
全部、仕事みたいな感じ。

それで小学4年生がクラスを代表して涙ながらに苦痛を訴えたの
だけ、聞き入れて貰えなかった。

皆でやっていると仲間意識があるせいか、どの親も率先して折れるという事をしなかった。

裏切りが許されない状況なんだろうな。ほんとに悲惨。いや、寧ろ同じ様な仲間が居てくれるだけでもマシかもしれん。

同じ痛みを分かち合えるというのは、それだけで心強い。だからこそ、彼らは頑張つて大人に立ち向かつて行けたのだと思う。

俺の時のスパルタは一人で我慢するだけだったから・・・

いずれにせよスパルタつてある種の虐待だよ。

頑張らなければ認めてもらえないという先入観が、ふか~~~~~

~~~~~くこびりつく。下手したら捨てられる恐怖を抱える。進路から順風満帆なら判るけど、どっかで挫折したら一生崩れま

す。  
挫折しても頑張りがすぎた見返りがどうしても欲しくなつて、高望みして手に届かないレベルの場所で努力する。株とかで死ねるよ。

株投資での成功に限らないが、そういう誰かに認められたいが為に、一人きりで頑張る世界に足を踏み入れるのは危険である。

頑張つても頑張つても誰も認めてくれない事があれば、そのフラストレーションをどこにぶつけてよいのか判らなくなる。

恐らく、その苦痛は自分以外にぶつけられないと思う。周囲の人間が、きつと好きだからこそ、認められなくて好かれないで頑張つて来た筈だから・・・

だから、これを読んでる人に居たら、お頼み申す！

一人で頑張つて潰れてる奴が居たら、るばんがー！ って言つてやれ。

意味は、ネット検索すれば判る。

といつても、頑張ってる奴に限って、頑張る事が美学とか思つて

るのね。

、しかもプライドが高くて、つかれたとか弱音を吐くことが、弱い人間のする事だとか思ってたて弱身を隠したがる。馬鹿なくらい滅茶苦茶自分を追い込んでしまう。

俺なんかプレシャーという名のランクSのボスキャラモンスターに胃袋一個食われた様なもんだから（笑）

でも、そういう人を救うのは容易ではない。見つけようとしても皆、弱い自分を隠してしまうから見つからんのね。せいぜい判るのは虐められてる奴くらいか？あるいは単純に友達の居ない奴。案外、不良とか孤独だったりして。でも、そんな奴らには正直近寄りたくないな！

なので、今更だがこの事は考えなくていいと思う。てか保留にしようw

いつか俺が人の心が見えるテレパシー装置を開発してしまうから、それまで昼寝でもして待つとけ！

俺の才能と超能力を持ってすれば、不老不死だって宇宙開発だって容易なんだからね！

## 謝罪

俺は最近、独り言ばかりしてる。

俺は、一体誰と話をしてるんですか？

もやは、読者の事なんて一切関係なし

俺の文章を読解するなんてまず不可能である

でも、読んで辿って俺の事を理解しようとしてしまった人はスゲエ！

敬意を払いたい！　そして、そいつと結婚したい！！

だけど、不に落ちないとか、読んで損したとか、あるだろう。

そういう時は、人の気持ち判らなかつたと、諦めるしかない。

あるいは、俺に対して愛はその程度だったのだと、諦めるしかない。

諦めるのが無理なら、るばんがーって唱えてみればい。そうすりゃ納得できる。

それでも納得できん奴は、生きる資格は無いと言いたいね

なぜなら俺は神に最も近い男だからだ。

長年の障害をいくつも乗り越えた果てに神の世界に辿り着いた。

そして神は言った。

「俺には何も出来ん！」

ふざけるな！　じゃあなにか？　お前は何の為に神をやってるんだ！

その問いかけに神は

「昔はね。楽しくて良い事もしてたけど、最近は飽きちゃって、二  
トみたいに職務放棄しているんだ」

それを聞いた俺は納得したね。だって俺だって二とだもん。そ  
の気持ち判るよ。

でもさ、それじゃあ、お前の価値が無くねえ？

「そうでも無いんだよ。神は俺一人じゃないし、今はキリストって  
いう人が、せつせと頑張ってるし、彼、生きがい感じちゃってるか  
ら、仕事取るのもあれだしね・・・」

そのキリストって人なんだけどさ、結構前に人間として生まれ変わったよね。

遊び足りないー！ とか言ってさ・・・

「ナンデそんな事、君が知ってるの？」

そりゃああれだ、そのキリストの生まれ変わりが俺なんだよ。

「え？ マジに^^；

そうだよ！ お前と同じで神様がかつたるくて職務を放棄したんだよ。

お前、ずっと下界みてないだろう。お前にとっちゃテレビドラマの1クール見てる程度の時間だけど、下界では既に、俺らが何もしなくなってる2010年になってるんだぜ。

もう、2000年以上、職務放棄したせいで世界が色々とおれまくってテロとか起きちゃったじゃねえか。

「ご、ごめんよ・・・でも、いいじゃないか。人が死ぬのは当たり前なんだからさ・・・

ふぎけんな！ めちゃくちゃ人間って苦労すんだぞ馬鹿！

死ぬとか生きるとか、あんなに苦痛だとは思ってもよらんかったわ！ それなのにローン賭けて人間の魂10回分も買ってしもうた。

もうどうしたらいいのか判らんのよ。

だから、こつやってローンに更にローン賭けて神世界入場料払って

来てるんだろっが！  
はやく神に戻りたいけど、あと7回輪廻せにやらんから、なんと  
か幸せにしてくれんか。

「嫌だね（キリ

は！??　なんでだよそれ！

「だって、なんだか腹が立つんだもん。いきなり目の前に現れて、  
上から目線でさ、あと10回死んでみれば？　10回自殺したら早  
く終わるんじゃないの？

俺はこの時、憎悪が頂点に達して居たのかもしれない。  
つい包丁でぶっさしてしまったのだ。

やってはならない事、そう、神を殺してしまったのだ。  
彼の寝顔はやすらかだった・・・

## 謝罪（後書き）

すまん皆、つい神を殺してしまった。

けど許してくれ。

どうせ、何を言っても奴は聞かなかつただろうし、神が死ねば三ジンコになるらしいから生きる大変さを知ると思う。

だから、これでいいのだと思う。

神の登場は、あと千年くらい待ってくれ、それまで俺と一緒に、  
がんばろうぜ

## 生まれて初めて頑張ろうって人に推奨した気がする

言っちゃなんだが、生まれてからずっと頑張る事に苦痛してたから、誰かに頑張ろうなんて言う発想は一度も無かった。

二トで立場が悪いと友達から「頑張ろうな」とか腐る程、言われる訳だけど、あれはきついでー

典型的な鬱と評価すれば見もふたも無いけれど、その時の感情は無気力とかそういう感覚じゃない。憎悪と劣等感と嫉妬が含まれる。無気力なんてどこにもない。

恐らく、これ読んでもる人たちが、この時点で「その気持ち俺も判る！」って思える人は全体の1%も居ないと思う。

それどころか、「お前何意味不明なこと言ってるの？」と思う人の方が遥かに多い筈である。

それはそれでいい。その方がいい。

けれど、気を付けたほうがいい。

そういう感覚で居れば、人に殺されてもおかしくない立場に居るのである。

二トは現在200万人程、居ると言われているが、その殆どは無気力が原因ではない。周囲の優秀な人間と自分の立場を見比べて恥ずかしくて社会に出るのを躊躇っているのである。

彼らは何らかの挫折を経験している場合が多く、他者と比べ劣等感を感じている場合が殆どで、そういう人は、口が裂けても、自分が二トだと公表しない。

俺自身がそうだったから判るのである。

誰にも言えないのである。

「職業は？」と聞かれて答えられない悔しさとかみ上げる感情は俺みたいなのにしか判らないのである。

「殺意がこみ上げるのは主に「頑張ろう！」「働きなよ」「働け！」「仕事は？」であるが、この4つの言葉は必ずしも言葉になっただけでなくとも意味や態度で表されれば殺意として反応する。

例えば

1、「いまなにしてるの？」〓生活を聞かれてる事は職業を答えなければならぬ。「仕事は？」と聞かれた事と同意味

2、「俺、東大受かったぜ。就職したぜ」〓立場を明かした為に二一トは自分と比較し劣等感を抱いた場合、頑張らなければならぬ。相手は嬉しそうで頑張ろうと思ってる。頑張ろうと言われた事と同じ意味

3、「求人誌もってきたぜ！」〓「まだ仕事見つからんの？ 弱いよお前！」という被害妄想の様に解釈し「働け！OR働きなよ」と言われていると感じる 他・・・

どれもが劣等感が原因にあつて、周囲と自分の立場を比べて嫉妬したり憎悪する。のであるが、それは表面上絶対に現れない。

というのも、そんな感情は自分自身が間違っている事を自覚しているからである。

だからこそ隠されるのだが、隠されれば嫉妬や憎悪は積み重なっていきかない。

仕事が決まらなければ怒りもたまり、溜まればいつか風船の様に爆発する。

そしてそれは親をも殺せる怒りなのである。

過去、実際にニートが両親を殺した事件があるのだが、事件はあんまりクローズアップされなかった。

誰もが異常な行動として評価し、病的なものとして判断したのだろうか、現実はずう。

殺したいと思うのである。

親は無言の圧力で「働け」と言っている様なものである。働く人間を良しと思うのが親として当然であるからこそ、常に劣等感と嫉妬と憎悪を抱いていく。それが殺人への引き金となる。

ここまで読んでなんとなくは理解できたと思うが、殺人はそれでも理解できないと思うだろう。その通りである。だけど、それを理解してしまえば、殺意に理解を示す事になり実に危うい。だからこそ、何となくでいいのである。

その殺意が俺にも芽生えたからこそ判ったのであり、だからこそ警告を促しているのである。

全ては劣等感が引き金になるのは真実なので十分注意されたし。

それと親を殺せるなら、他人だって簡単に殺せると考えてください。  
い。

秋葉原連続通り魔が良い例です。

自分が何となく発言した「働け」や立場を明かしている無言の圧力で、殺意は貴方だけでなく別の誰かに向かう。

「自分は、そんな事、言わないから大丈夫！」ではなく、誰かが言うからこそ、貴方が殺される可能性があるのです。

だからこそ、この警告を受けとめて周りに注意喚起を促して貰いたいと俺は願うのである。

もし、俺が親を殺すとしたら？

私は両親を殺した。

父は一突きで

母を包丁で滅多刺し、

だが他の事は何一つ覚えていない。

どうして殺したのか？

ただ言えるのは殺したときの恐怖の感覚だけは覚えている……

〔犯行直前の出来事〕

僕は何をしているのか。

部屋がグチャグチャになっている。

僕は何をしているのか。

手がちまみれになっている。

僕は何をしているのか。

母を泣かしている。

気が付くと涙が流した母が倒れていた。

僕はもうだめだ……

自分が消滅する。

僕は台所へ駆けて行き。

出刃包丁を取り出し、刃を強く握った。

ごめんなさい。ごめんなさい。

僕は、この言葉を心の中で連呼する。

あなたにとって一番大事な私が

あなたに手を上げてしまったこと許してください。

あなたにとって一番大事な私を

私自ら殺してしまうことを許して下さい。

あなたにとって一番大事な私が

親不孝であることを許して下さい。

あなたにとって一番大事な私が

出来ないことを許して下さい。

僕にとって一番大事なのは、あなたでした。。。

僕は包丁を大きく振りかぶって勢い良く力をこめた。けれど父が止めにはいり、もみ合いになった。

僕は、ゆずれない。僕は僕にとっての一番大切な人を守るんだ。だから負けられない。

そうして、もみ合う内に力が抜けて軽くなった。

僕の目の前には包丁の刺し傷から出血している父の姿があった。父は動かない起きない。起きてこない……

僕にとって、あなたは何だったのでしょうか？  
僕にとって、あなたは

起きてこない父を母が見てしまう。  
僕が殺したことが母に知られてしまう。

あなたにとって息子が旦那を殺すことは、どう思いますか？  
あなたにとって息子が旦那を殺したらどうなりますか？  
あなたにとって息子が旦那を殺した後、生きていけますか？  
あなたにとって息子が旦那を殺した後、死にたくないですか？

嫌だ嫌だ。

僕は心中で叫びながらも腕がとまらない自分を見ていた。母の身体を裂く刃。

目をそむけても目に飛び込んで来る顔

僕は一体なんなんだ？

何をしているんだ？

母さんが大好きだった。

大好きなのに。。。

なのに　腕は止まらない。

痛いという声が聞こえる気がする。

気がするだけで何も聞こえない。

聞こえるのは僕の声のみ。痛いのは僕の手。・・・

もうすぐだから、もう直ぐ・・・

楽になるから・・・

万が一にも生き返ってもらっては困る。

だから僕は生きかえらないほどに滅多刺しにした。

僕は外へ出る。身体が勝手に動いて行く。

外は雨が降っている。僕と違って皆だけ傘をさしている。

まるで何事も無かったのように歩いている。

平和なやつらに僕の存在を見せ付けるチャンスであると思った。

僕は僕の人生をこの一撃で償う。

僕は声にならない声に全ての感情を乗せて突き刺すのであった・・・

もし、俺が親を殺すとしたら？（後書き）

このとき、夜〱朝にかけて国の発展の為に、面倒でウザイ民のクレームを聞き続けていたのだけど、父上様に朝、

「どうか稼ぎの無い私目の為にお仕事なさってくださいm（〱）（〱）  
m 老後が不安でイチゴ汁を吐きそうでございます」

と、仰られたので、「あ？てめえの稼ぎくらい自分で稼げよ！」

と、申しましたところ、父上は

「パチンコで借金100億になって、一人では返しきれないのですと、仰ったの

国家予算完全にオーバーしてるし、これには俺めっちゃビックリしてさ、つい動揺して間違えて「メガンテ！！」って唱えたの覚えてるw

でも、疲れててMP足りなかったのよね。助かったよセーフ！

## 愛するという仮説

人は、なぜ小動物を愛おしいと思うのだろうか？

猫、犬、リス・・・

小さければ、小さいほどに愛おしさを感じてしまう。

なぜだろう？

理由は簡単。

それは、僕らが彼らだったからだ。

前世、僕らは彼らだった・・・

彼らの命は、小さく儂く、何度も死を体験する。

必死で生存競争に勝ち残ろうとしていた。

それでも、やはり何度も死を体験しなければならぬ。

僕達は、その時代の生き様を記憶している・・・

自分の生きてきた・・・歩んできた記憶を彼らが呼び覚ます。

無意識の深層心理に働きかける。

だからこそ根拠もなく、小動物に愛おしさを感じるのである。

けれど世の中には小動物を殺す者が居る。

彼らは、小動物に愛おしさを感じることもない。

僕は、覚えている。

目の前で無残に殺されていく彼らを忘れはしない。

けれど僕には、どうすることもできない。

だから僕は、自分を納得させるために前世を持ち出す。

彼ら悪は

生まれ変わる際の輪廻転生のシステムにエラーが起きた。

神は、そのエラーを修復できる技術が無いだけなのだ・・・

だから僕が神になる!!!

神になってエラー問題を解決してやる!!!

## 變するといつ仮説（後書き）

いろいろツツコムとはあるうが、既に俺神だし、きつと皆もそつ  
思ってるだろつw

## 俺が成功した時の予定

僕には、未来が見えた。

僕は、超有名人の葬式に参加している。

僕は、世間的に成功者となっていて、葬式のお声がかかった。

僕の顔は、テレビでは、一切公開してないから、ここでもプライベートルートがバレルことはない。

だが、挨拶文の要求は事務所から受けていたので何にしようか迷っていた。

と、こんな妄想していたら、悲しくなってきた。

その超有名人の葬式には、関係者や、大衆が1万人近くいて、皆の顔が暗かったんだ。

で、僕は、こんな挨拶文を考えてた。

もし、未来で同じ状況が起こったとしたら、僕は、以下の挨拶文を、イケメンのタッキーにでも読んでもらおうと思う。

〜挨拶文〜

超有名人さん、お亡くなりになって、残念です。

ですがこのような葬式の機会をいただいて、本当は、ありがとうと申さなければいけません。

ここからは、堅苦しい言葉の敬語なくして、僕らしい言葉で、語ってみたいと思います。

直ぐに終わりますから安心してください。タッキーさん感情を込めてよろしくねw

タッキーの声

葬式とはいえ、せつかく、こうして皆が集まっている！

つまらなく、暗い話をするより、皆で遊ぼうじゃないか！

お祭り騒ぎでも、子供じみた冠蹴りでもなんでもいい……

そして、皆、お互いを好き合おう!!。

それが何よりの、死者への弔いである。

僕たちの出合いを貴方が最後に繋いでくれている……。

そのお陰で、僕たちは、これから幸せになれるのだから……私の言葉はこれでオシマイ。

タッキーさんお疲れ様でした。

今度一緒に、ご飯でも食べに行きませんか？

事務所を通してくれれば、僕はいつでも歓迎します。

俺が成功した時の予定（後書き）

参加者は、1万人も居る・・・一体、一万人でどんなことができる  
だろうか。

俺の事を1万人が神として崇拜したら気持ちいいだろうな・・・

## 悪人ができあがる様子の心理描写みたいな詩的エッセイ

嫌な気分させられた。

僕は、その人を殴った。

先生に怒られた。

怒られたことに腹が立った。

腹の虫が収まらない・・・

嫌な気分させられた。

僕は、その人を殴った。

親に怒られた。

怒られたことに腹が立った。

腹の虫が収まらない・・・

嫌な気分させられた。

僕は、その人を殴った。

親に怒られて殴られた。

怒られた上に、殴られたことに腹が立った。

腹の虫が収まらない・・・

嫌な気分させられた。

僕は、その人を殴った

その人とケンカになった。僕は勝った。

先生と親に怒られた。

腹の虫が収まらない・・・

嫌な気分させられた。

僕は、その人を殴った。

その人とケンカになった、僕も怪我をした。

先生と親に怒られた。。。  
腹の虫が収まらない・・・

嫌な気分させられた。

僕は、その人を殴った。

その人とケンカになった、僕だけが怪我をした。

先生と親に怒られなかった。

優しくしてくれた。うれしい。

僕は、誰でもいいから、その人を殴った。

その人とケンカにならなかった。

先生と親に怒られた。

腹の虫が収まらない・・・

僕は、誰でもいいから、その人を殴った。

その人とケンカになった。僕も怪我をした。

先生と親に怒られた。

腹の虫が収まらない・・・

僕は、誰でもいいから、その人を殴った。

その人とケンカになった。僕が勝った。

先生と親に怒られた。

腹の虫が収まらない・・・

気が付くと僕はどんなに強い相手にも負けないほど、ケンカが強くなっていた。

僕は、この力で、友達を支配した。

友達がいなくなるのは、とても楽しい。

上記が強い悪人の出来上がっていく典型例  
しかし、以下の展開になると悪人が善人になる。

嫌な気分させられた。

僕は、その人を殴った。

先生に怒られた。

その後、ドラゴンボールを見せられた。

暴力は正義の為に使うのがカッコいいのだと知った。

上記が善人の出来上がっていく典型例

『腹の虫が収まらない』を、ドラゴンボールに変えるだけで善人の出来上がり！

しかし、もし、ドラゴンボールがカッコいいと思わなければ・・・

嫌な気分させられた。

僕は、その人を殴った。

先生に怒られた。

その後、ドラゴンボールを見てフリーザがカッコいいと思った。  
よし、いつか凄い事件を起こしてフリーザになろう。

悪人ができあがる様子の心理描写みたいな詩的エッセイ（後書き）

ちなみに

強烈な悪人が出来上がったとして、悪人同士がぶつかると・・・

痛いよこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！  
よこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！  
よこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！  
痛てえよこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！  
よこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！  
痛いよこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！  
よこら！ 痛てえよこら！痛いよこら！ 痛てえよこら！  
よこら！ 痛てえよこら！

## 縄文時代の記憶

僕は、親に怒られてる。

くやしい。

そもそもこの仕事は親がするもんだ。

だって、毎日そうやって来たのだから、今日だって同じ日だと思っ  
ていた。

だけど、親は、自分の仕事を忘れてしまい、その責任を僕に押し付  
けてきた。

「この木!!!ここから、ここに、木の影が来たら湯を沸かすの  
!!!失敗したのは、全部アンタのせいよ!!!」

あの時代は、木の陰で一日の時間を図っていた・・・

夕飯前に、火を起こして、縄文土器で、湯を沸かさないといけない  
のだが、

親は、その木の陰をチェックするのを忘れていたのだ。

夕飯時に、料理用の湯が沸かされていないのだ。

その責任を僕に押し付けたのだ

今日は、運悪く食料の確保が遅れた・・・

腹が減ってひもじいからかもしれない、親もストレスが溜まって居たのだろう。酷く激怒している。。。

でも僕だって同じだ。腹がすいてイライラする・・・

さっきまで、水を汲みに行つててへトへトなのに・・・

悔しい。悲しい。

親という絶対的な権力の前に、僕はなす術がない・・・

やり場の無い怒りを僕は、どこにぶつけて良いかわからなかった。

なぜ、毎日辛いのだろうか？

水や肉が目の前に一杯ありれば、こんなひどい目にはあわない。

どうして、もっと楽に生きられないのだろうか？

なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？  
なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？なぜ？

疲れた。。。

腹へって余計に、イライラする・・・どうしようもない・・・

くそつたれ――――

――――！――――！――――！――――！――――！――――！――――！――――！――――！――――！

僕は、疲れがピークに達し、その場にグッタリと倒れる・・・

目を覚ますと、おいしい肉の匂いがした。。。

親は笑顔でこっちを見ている・・・

嘘つき！！！！

そんな笑顔に騙されるものか！！  
食べてたまるか！！！！

「ぐるぐるー―――」

腹の音

・  
・  
・

「ぐるぐるー―――」

腹の音

・ ・ ・

畜生！！絶対に許さないからな！！！！

と、思いながら、肉に食らいつく僕でした・・・

## 縄文時代の記憶 (後書き)

――  
木の陰をチエックし忘れた理由

当時は、お隣さんが沢山居たから、どこかの家族が火を起こすのを合図にして、僕達は火を起こしていた。  
ちよつと知恵を働かせていたツモリだったのだが油断した。  
狩に夢中で、そのまま日が暮れててしまったというパターンである。

追記

思い出しました。

実は、当時の主食は肉ではなくドングリです。

「肉」を「ドングリ」変えて、お読みください・・・

つて、おいしくね――――よ!!!!

ドングリなんて、味も素っ気もないよ!!

空腹で寝られないのを満たすためだけに食べているようなもんだ。

あ―――あ・・・思い出して損した!!

しかし・・・過去の記憶というもんは、実に曖昧ですな。

昨日、何を食ったかさ覚えてないんだから、縄文時代に自分が何を食べたかなんて判るはずが無い。

ええ!!!??、縄文時代の主食は歴史の教科書で習った?

あ―――・・・

知らんぞ!!そんなものは、見聞きした覚えなど無い!!



キリストは神を信じない！！つたら信じない！！

私はあの時、処刑されるべきではなかった。

未来が私の想像を遙かに遂げて進歩しているとは思ってもよらなかった。

信者の皆さんゴメンナサイ。

私は、浅はかでした。

できるなら私の人生を最初からやり直し、「神」という存在を消し去り、未来に対する夢と希望を与えさせてください。

今日は、私、イエスキリストが、皆さんに黙っていた秘密を教えたと思います。

実は……私は、神を信じておりません。

信者には、申し訳ないですけど、本当なんです。

私は、神を作った理由は

死を受け入れなければなくなった病人に対して、メンタルケアの為に作ったのです。

私は、幼少の頃に親を病気で亡くしました。

親の死に際の苦痛の表情が忘れられなくて、私は、医者になることを決意しました。

けれど、医者になっても、患者の苦痛が無くなることはありませんでした。

私は、毎日のように、人々の悲劇の死を見つめて、「どうにかできないのか？避けられないのか？」

と、ずっと、悩んで生きてきました。

そんなある日、一人の患者が神に祈りを捧げて、死を受け入れよう

としている者が居ました・

その患者は、泣き言を言わずに死を迎えました。

私は、驚きました。神を信じる力が、これほどまでに患者に安堵もたらすことができるとは・・・

その時、私は、神を作り出した。

私の独自の神は、神と悪の2つ神が存在していた。

神が人間に試練を与え、最後には幸せへと導いてくれる・・・

そんなことを書き連ねた書物（聖書）を作って、患者に配りました。

私の目論見は成功して、患者たちの悲劇を少しだけ、見なくて良くなりました。

長い年月をかけて、聖書は広まった。

だけど、私の書いた聖書が原因で、本当の悪魔が生まれてしまった。

金持ち、権力者、達だった・

彼らは、聖書を信じる者を好ましく思わなかった。

聖書を信じたものを奴隷にしたり、金儲けに利用できなかったからだ。

当時、聖書は、信者にとって、死を受け入れるだけのものでは無くなっていった。

神が全ての世界を創造し、神のお陰で、衣、食、住が成り立つと信じていた。

信者たちは、小さな幸せで満足し、農耕を行い。つつましい生活をしていった。

だが同時に信念のような強い意思が生まれてしまい。権力者と対立

するようになった。

権力者、金持ちは、奴隷を調達したいのだが、それが出来なくなつた。

信者たちは、権力者に断固立ち向かう姿勢をとり続けた・・・

それが、原因で、キリスト教の弾圧が始まった。

弾圧は酷いもので、権力者は民を脅して、キリストを差別するように仕向けた。

歯向かえば、民は、殺されてしまう。

私の元には、連日連夜、けが人と死体が運び込まれた。

私は、後悔した・・・。自分が生み出した神の責任だ。

私は皆に神として崇められるようなことなどしていない。ただ、患者の苦しむ姿が見たくないだけ・・・

それは全て、私のエゴでしかなかった。

私がいくら後悔しても、死体の山が途切れることはなかった・・・

そんなある日、私は、不治の病にかかった。

先は長くないことを悟った時、私にあるナイスアイデアが浮かんだ・・・

このアイデアは一休殿と同じようなことだった。

大衆の抱いた信念を消す為の手段であった。

神を崇める者達に、神が悪に負けてしまうことを演出すればいいと思つた。

そうすれば、神は絶対ではなくなり、信じなくてよくなる。

私は神として悪の力に屈服することにした。

私は、最後の晚餐を追えた後に、弾圧の酷い地区に顔をさらした。

わたしは、捕らえられた後に、公開処刑が実行された。思惑どうりの展開になった。そして、私は、死ぬまで悲劇のヒロインを演じた。

だけど、現実には、変わらなかった。

一度火のついた信念は、簡単に消え去るものではなかった。

信者たちは、私の悲劇的な死さえも、神からの試練だと思い込んでいた。ごめんなさい。

信者達への弾圧は、終わることも無く・・・

信者たちは、悪と戦い続けた・・・

ごめんなさい・・・

私の死は、何も意味が無かったのか？

私は現代の社会を見て考えていた・・・

すると、なんと！？聖書があるではないか！？

医学や何もかもが発展したこの未来で、どうして神を信じる必要があるのか？

信者がまだいることも不思議だ・・・

んん？なんだ？この人は、信者から金を受け取っているぞ！？

なんてやつらだ。私はこの聖書を金儲けに使ったことなど一度も無いのに・・・

過去、信者たちが生きてきた証、努力の証・・・それを踏みにじる、ぼうとくである。

許さん。私の可愛い子供達になんてことをするんだ・・・

天罰じゃ！！

私は、魔法を唱えた。。。少しだけ信者が、こっちの方を見た。

畜生！…あの世でできるのは、この程度のことしかないのか——  
——！！！！！！  
早く出世して転生しなければ……

キリストは神を信じない！！たら信じない！！（後書き）

この話は嘘だからね。あくまで作り話だからね。

実際の神様は物凄い事ができる。

それこそ何でもありで、無からバナナを一秒で生み出すとか出来る。2000年以上前は俺も神として結構仕事しててさ、といっても特別やることは無くて、自然をコントロールして人々を喜ばすか、あるいは困った人に食べ物をごちそうからか、瞬間移動で持ってくるとか、その程度なのよ。

聖書なんかで書いた物語もそうだけど、フィクションというより、俺が実際、昔してた

神の仕事を書いただけなのよね。

相方の神がいたずらに悪魔を光臨させて人間を不幸にして楽しむからさ、しゃあないから、俺も退屈しのぎに天使とか召還して遊んだのね。

皆、めっちゃ迷惑してたのだけど、俺、人間になるまで今まで全然、気付かんかったよ。

未来を見る事は不可能なのだけど、過去は100億年くらいまで覚えてる。

太陽系やら地球を主に管理してるのは実質2人なのだけど、今、2人とも出払ってて、神から見放されてんだよね。俺の責任だよ、ごめんね。

あと、銀河の果てに方に、ドラゴンボールのピッコロみたいな居る。

しゃべらないけど、テレパシーみたいなので、伝達しあう直物系人間みたいなの。

そいつらは、俺らよりも10万年くらい科学が発達してて、宇宙船で漂ってる。

ただ、ちよっとこいつら、おかしくて文明を機械化しすぎて全自動化しすぎたのね。

もう、生命体らしい生き方してないし、完全に植物みたいになっちゃってる。

本人らは楽しいのだろうけれど、はたから見たら、つまんねえ生き物だよ。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2002p/>

---

俺に興味が無い奴は、生きる資格は無い！

2010年12月17日02時15分発行